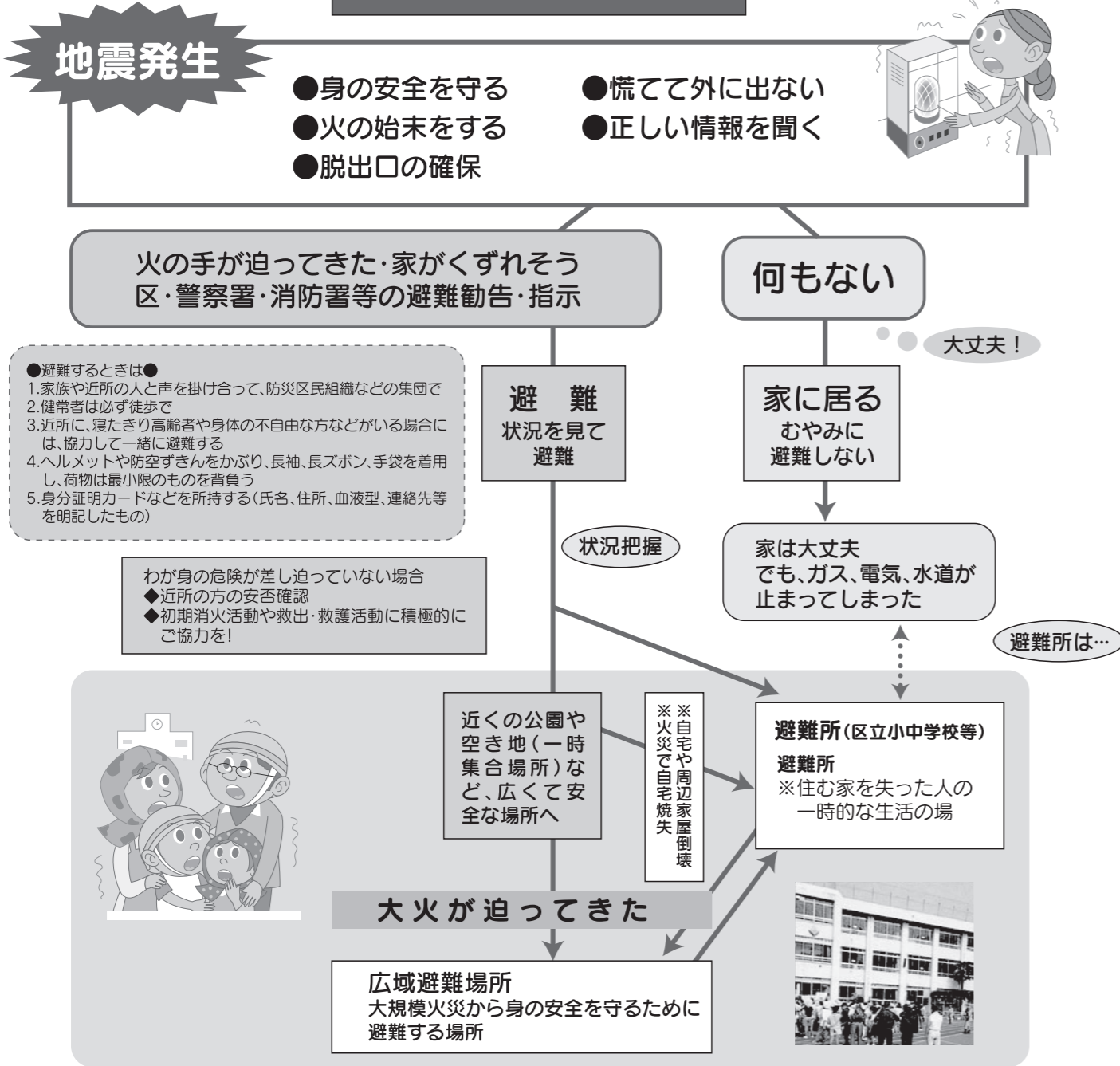


“避難”を考える

※新宿区 危機管理課のホームページより



編集後記

私が区議としてスタートした1999年(平成11年)にも、7月、8月と、数回にわたって、集中豪雨がありました。地下室に降りた住民の方が浸水により事故死され、マスコミ各社が、新聞などで大きく取り上げました。当時、東京都下水道局や区に緊急対策を要請。東京都が発表した、「雨水整備クイックプラン」の、都内25ヵ所の重点地区に、新宿区で唯一、西落合3・4丁目指定され、浸水被害を防止する工事が中・長期計画で大規模に実施されました。そんな中、昨年の9・4の水害。70年ぶり、80年ぶりの豪雨だったとはいえ、災害対策に、ゴールはないことを思い知らされました。

今回の質問で、区も、4億～5億円の予算付けで、いよいよ、アナログの通信システムを、デジタル化へと構築する、そして前倒しの19年度に実施することを、明言しました。サプライズ答弁でしたが、先進的な新宿区の、遅れているところを、総点検した、私の大きな実績となりました。



新宿区議会公明党ニュース あかば通信

No.14



発行 新宿区議会公明党 赤羽 つや子 発行日 2006.7.13
〒161-0032 東京都新宿区中落合1-21-3
TEL&FAX 03-3366-0164
〈Eメール〉 akaba@m1.enjoynet.ne.jp

「地域の防災対策が大きく前進」

新宿区議会第二回定例会が、6月8日から6月19日まで開かれ、その中で、あかばは、「地域防災施策の充実について」、一般質問をいたしました。昨年の9・4の災害を大きな教訓として、新宿区として、どの様に、災害防止策を検討してこられたのかを、3点について、質問しました。



Q1

9・4の教訓から、発災時の初動体制は、地域防災計画の中で、どのように改善されたのか？とくに、地元住民に対しての情報伝達や、職員の行動計画はどうなったか？

* 昨年「災害応急対策職員マニュアル」の見直しを図りました。台風等、事前に把握できる災害等に対しては、2日前から警戒態勢に入ります。夜間・休日等の職員の動員にあたっては、今年度中に、「緊急時職員参集システム」を構築します。

A

Q2

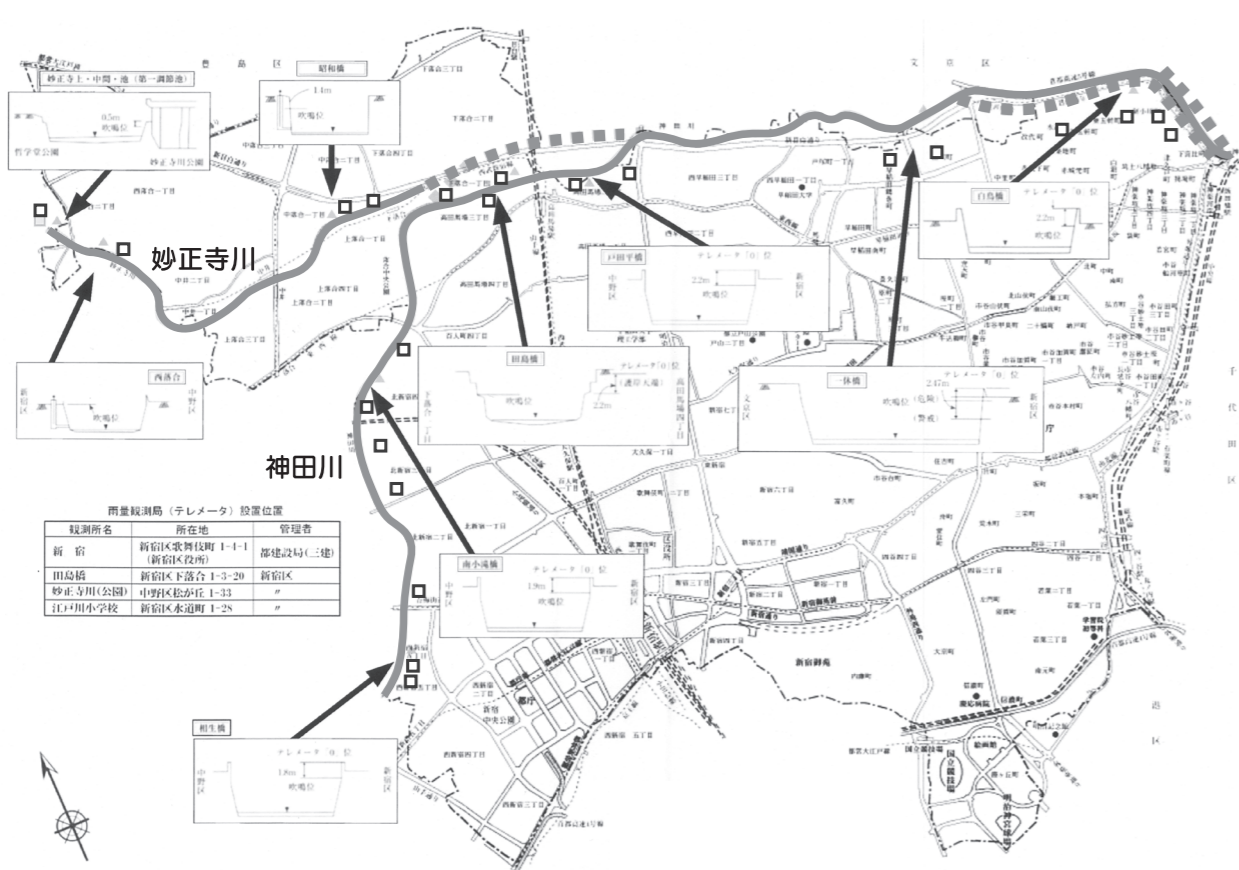
新宿区のホームページで、河川の水位情報等を公開し、また6月から携帯電話からも、情報を入手できるなど、区としての努力は、評価する。しかし、IT情報を持たない世帯にとって、水位警報であるサイレンで、注意を喚起する方法も重要。現況、妙正寺川護岸には3台のみ。サイレンの増設をすべきと思うが？



* 昨年の被害の実態、サイレンの到達可能範囲等を総合的に勘案するとともに、周辺住民の意見も踏まえながら、増設について検討します。

水位警報装置(サイレン)設置図

□サイレン(水位警報装置)



雨量観測局(予レメータ)設置位置

観測所名	所在地	管理者
新宿	新宿区歌舞伎町 1-1-1 (新宿区役所)	都建設局(三建)
田島橋	新宿区下落合 1-3-20	新宿区
妙正寺川(公園)	中野区松が丘 1-3-3	〃
江ノ川小学校	新宿区永田町 1-2-8	〃

Q3

「減災社会をめざす」新宿区にとって、災害時、災害情報をいかにきめ細かく、伝達できるか、そこに大きな責務がある。出張所や地域センター、避難所等でも、区民に対して、いち早く伝達できるしくみを構築すべき。区の考えは？



* 災害時、正確な情報をいち早く被災者に提供することは、非常に重要と認識しています。

発災直後は、電話が不通となり、携帯電話も発信規制を受け、通話しにくくなるのが想定されます。従って、防災無線を使った情報収集と発信は、大変重要であると考えます。現行のアナログ地域防災無線を、通話が双方向方式となる、デジタル化の、平成19年度導入を目指し、今年度から、実施計画を策定します。



デジタルとアナログの違いとは・・・？

情報を数量で表す方式にアナログ(Analog)とデジタル(Digital)があります。短針と長針で時間を表す従来式時計がアナログで、数字で表すのがデジタルです。また、アナログ方式のLPレコードは今では古めかしくなり、デジタル方式のCDに取って代わられています。実際には、コンピューターをはじめ、広く情報の伝達と処理の基本となるものです。アナログ量の情報は、常に不確実性が伴い、信頼性が乏しいのに対して、デジタル信号は、雑音に対して強く、コンパクトディスク、ビデオディスク、デジタル通信などで活用され、高品質の情報処理にも活用されています。

《中山区長も、水害対策に思いをはせていた！》

区長 中山弘子

今年は5月から雨が多く、既に大雨洪水警報が発令されるなど、水害への備えが必要な季節を迎えています。河川や下水道の改修が進み、新宿における水害の発生は昔に比べ少なくなっていますが、突発的な豪雨による大きな被害の発生が心配です。▼昨年の9月4日の集中豪雨では、中野・杉並の地域で、1時間当たり100ミリを超える大雨が数時間降り続いたため広範囲に大きな被害が発生しました。新宿区内でも西落合の妙正寺川北原橋付近で甚大な浸水被害が発生しました。▼私はこの時の浸水の速さや被害を目的の当たりし、関係者による抜本的な対応と日常からの区民の方への情報提供の必要性を、改めて実感せずにはいられませんでした。(中略) ▼また、各戸に配布した洪水ハザードマップ(区内で予想される洪水範囲とその程度や、各地域の避難所等を示した地図)もぜひ活用してほしいと思います。地下室への浸水の危険にも留意するなどの都市型水害に備えた安全の確保に、皆さんとともに取り組みたいと考えています。

コラム 新宿 まち・人・しごと

※「広報しんじゅく 6.15」コラムより抜粋させていただきました。